

令和3年度 第2回磐田市健康づくり推進協議会次第

令和4年3月22日（火）午後1時30分～

磐田市総合健康福祉会館(iプラザ)2階生活訓練室

1. 開 会
2. 健康福祉部長挨拶
3. 会長・副会長の選出について
4. 会長挨拶
5. 議事・協議
 - (1) 健幸いわた21
 - ①令和3年度の取り組みと次年度の計画について
 - ②本計画改定の予定について
 - ③新型コロナウイルス感染症対策について
 - (2) 意見交換
6. その他 連絡事項
次回日程 令和4年8月頃
7. 閉 会

健幸いわた21重点課題 令和3年度の取り組みと令和4年度の計画

健康寿命の延伸	令和3年度の取り組みと課題	令和4年度の計画
保健事業と介護予防の一体化	フレイル予防対策は、中央図書館や学びの庭での掲示による周知・啓発といきいき百歳体操などの団体へ講話を実施。健康状態不明者(※1)の実態把握では、訪問等により健康状況の把握と健診の受診勧奨を行った。 (課題) 健診・医療・介護のデータ分析では、他市に比べ、骨粗しょう症及び生活習慣病が起因する脳血管疾患や心不全の医療費が高いため、フレイルや低栄養、生活習慣病の重症化を予防する取り組みを継続して実施していくことが必要。 ※1 健康状態不明者：1年間に医療受診なしかつ健診受診なし	・重症化予防のため、対象者を絞り、訪問等による個別に寄り添った支援の実施。 ・フレイル予防対策として、いきいき百歳体操の推進と団体支援。 ・広報等を活用したフレイル予防の周知啓発。 ・健康状態不明者※の状況把握と健診受診勧奨 ・経年のデータから見える健康課題の推移の把握と事業の取り組み評価
まちの保健室(健幸いわた21PII)	「まちの保健室」は、新型コロナウイルスの対応により中止したため、健康相談は、電話や訪問で地区担当保健師・栄養士が個別に行った。 出張まちの保健室は、中央図書館と市内企業2か所で行った。 中央図書館では、小学生にも伝わるよう掲示を工夫し、関連する図書の貸し出しを行い幅広い世代の啓発につながった。 (課題) 長引く自粛生活による健康二次被害が危惧されるため、実態把握とともに相談できる場や健康維持増進に向けた働きかけが必要。	・まちの保健室を予約制で再開。 ・健康二次被害の周知啓発として、出張まちの保健室を交流センター以外の施設・店舗等で計画していく。 ・働きざかりのアプローチとして希望する企業へ出張まちの保健室として健康経営の支援を行う。 ・ターゲットを絞りWEB版まちの保健室の配信継続。
生活習慣病の重症化予防	令和3年度の取り組みと課題	令和4年度の計画
健康診断(参考資料3)	・感染症対策をし、安心して受診できる環境体制での実施(時間帯予約での実施) ・健康診断の受診率向上のため、健診(検診)会場を増やした。 ・がん検診受診率向上のため、検診期間の延長・レディースデイ・イブニング検診・2月の追加健診を実施 ・健診結果から医療機関への要受診者、治療中断者への受診勧奨の実施 ・後期高齢者健診の受診勧奨を地域包括支援センターと連携し実施 ・重症化予防の訪問はコロナ禍で制限があったが、事前連絡により実施できた。 (課題) ・特定健診、後期高齢者健診の受診率の伸び悩みあり。コロナ禍による受診控え、受診勧奨がワクチン接種時期と重なったことの影響が考えられる。 ・がん検診受診率はR2からすべて向上したがR1からは子宮、乳がんのみ向上した。	・受診機会を確保するため、健診期間の延長継続及び様々な健診会場の確保を継続実施していく。 ・若年世代のがん検診受診率向上に向けて、SNSを使用しでの広報を実施する。 ・未申込・未受診者へは直接受診票を送付し、受診しやすい環境を確保する。 ・開業医や専門医と連携し、糖尿病の重症化予防をすすめていくとともに、訪問指導や受診勧奨を引き続き行っていく。
こころの健康	令和3年度の取り組みと課題	令和4年度の計画
相談・啓発の強化(健幸いわた21PI7~19参照)	・自殺動機の多数である「健康問題」に着目し、健診会場で啓発資料を配布した。 ・コロナ禍で支援が得られにくく「産後うつ」に陥りやすいことへの理解を深めるため、出生届出時に市民課にて啓発資料を配布した。 ・ゲートキーパー養成講座の内容に、磐田市の経年的なデータを追加した。 ・ゲートキーパー養成講座の予約が第6波感染拡大時期だったため中止となった。 (課題) ・西部保健所管内での女性自殺者の増加傾向、同居人有の自殺が8割以上の傾向 ・コロナ禍でのゲートキーパー養成講座の実施方法の検討が必要	・「健康問題」や「産後うつ」の問題を継続的に捉え、啓発活動を実施する。 ・幅広い世代への啓発資料、SNS相談窓口の紹介等効果的なアプローチを実施。 ・感染状況を見据えつつ、開催方法の工夫、対象者拡大をし、ゲートキーパー養成講座を開催する。
生活習慣の改善	令和3年度の取り組みと課題	令和4年度の計画
ベジファースト食育啓発	・幼児期からのベジ・ファースト定着を目指し、給食時のあいさつを「いただきます お箸を持ったら 野菜から」へ統一を図った。小学校での継続的な取り組みを目的として食育推進委員会(市内校長、栄養教諭等が参加)で周知した。 ・企業における健康支援活動(健康経営)を2事業所で実施。 ・コンビニやドラッグストア等計35店舗でベジ・ファーストを啓発した。 (課題) ・世代に合わせた効果的なアプローチ方法での推進。 ・健康経営実施企業が少ない。	・給食時のあいさつを小学校一校において、モデル事業としての取り組みを図る。 ・企業への健康支援活動の拡大や、企業と連携したベジ・ファーストを推進する。 ・ベジ・ファーストの推進を示すロゴマークの作成や、SNS等での発信により、市民への定着を図っていく。

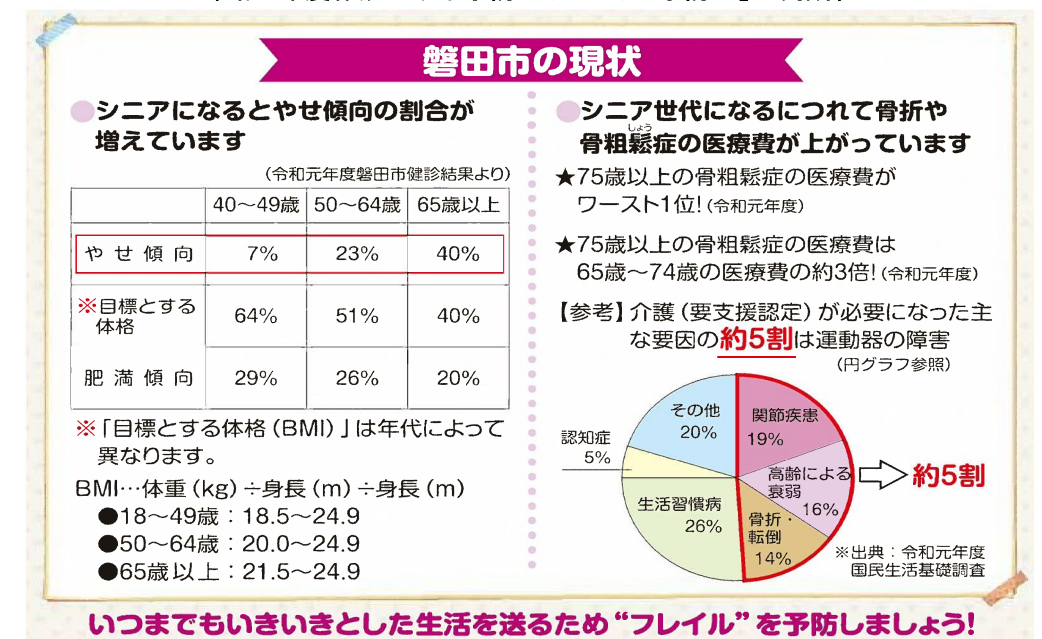
目標進捗状況

◎目標達成・○中間評価より改善・▲中間評価より悪化

健幸いわた21目標(一部抜粋)	中間評価(H28)	進捗(R2)	目標(R5)	評価
75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 ※2	(H27) 男79.6% 女40.1%	男75.3% 女43.0%	男72.9% 女40.1%	男○ 女▲
がん検診受診率の増加(40~69歳) 子宮頸がん検診は20~69歳	(H27) 胃26.1% 大腸49% 肺49.9% 子宮50.2% 乳60.1%	胃26.0% 大腸38.7% 肺41.1% 子宮37.3% 乳49.8%	胃30% 大腸50% 肺50% 子宮51% 乳61%	胃▲ 大腸▲ 肺▲ 子宮▲ 乳▲
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(法定報告)	24.3%	28.8%	22.4%	▲
特定健診受診率の増加(法定報告)	45.8%	38.2%	60.0%	▲
特定保健指導実施率の増加(法定報告)	57.0%	74.8%	60.0%	◎
新規透析患者のうち原因疾患が糖尿病性腎症の者の減少	23人	26人	19人	▲
自殺者数の減少	男性14人 女性4人	男性17人 女性9人	減少	▲

※2 年齢調整死亡率：年齢構成の異なる地域間の死亡状況が比較できるように、年齢構成を調整して揃えた死亡率

令和2年度作成「メタボ予防からフレイル予防へ」より抜粋



磐田市の新型コロナウイルス感染症対策について(報告)

1. 市内の感染状況

①総計 2020年7月から2022年3月7日まで 5,456人

②第6派の状況

2022年1月6日から3月7日まで 4,180人

2. ワクチン接種の状況

全人口に対する接種率

	磐田市 (R4.3.10)	静岡県 (R4.3.8)	全国 (R4.3.8)
1回目	80.6%	79.0%	75.2%
2回目	80.1%	78.4%	74.6%
3回目	28.1%	25.2%	26.7%

3. 市の取組(HP 参考に)

①感染予防対策

市独自の新型コロナウイルス感染症検査の実施

感染症対策等の電話相談

外国人への周知啓発

高齢者施設等への感染症対策の支援

②自宅療養者への支援

県の食料支援物資の配布

外出せずに買い物ができる店舗の紹介

灯油の注文・配達ができる店舗の紹介

パルスオキシメータの貸し出し

③ワクチン接種

5歳から11歳の接種を3月から開始

12歳以上の3回目接種実施中

④県の支援

保健所への保健師による業務支援

自宅療養中の方への訪問や電話による安否と健康状態の確認

4. これから懸念される健康課題

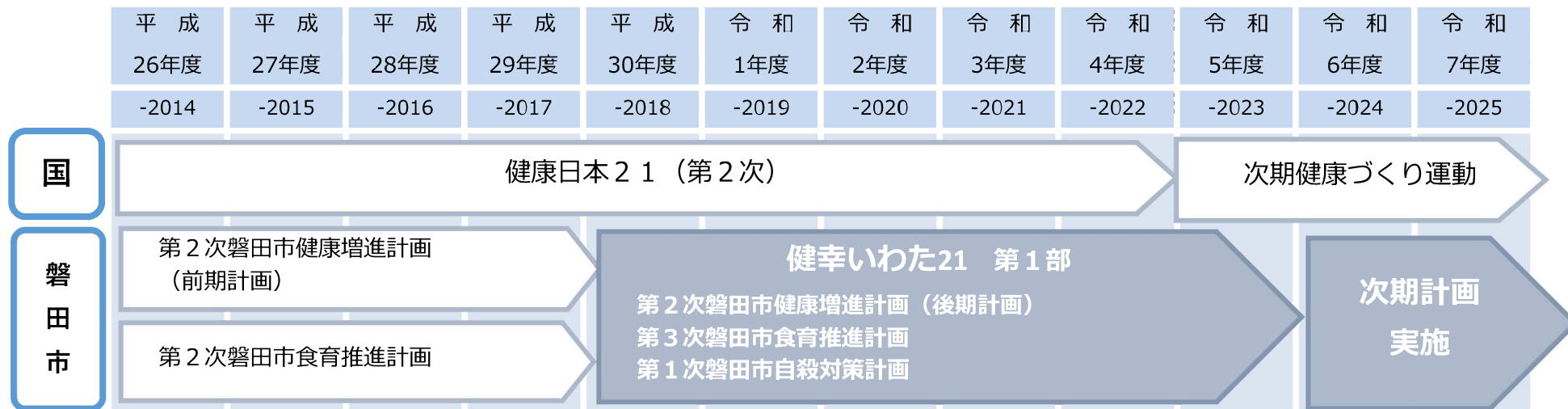
①74歳以下:長引く自粛生活による生活習慣病の悪化・増加(特に肥満)

②75歳以上:フレイル・認知症の進行・増加

③こころの健康:メンタルヘルスの不調・産後うつ・自殺の増加

磐田市の計画の期間

【変更前】



【変更後】

